

第17回旧RD最終処分場問題連絡協議会

工事の施工方法について

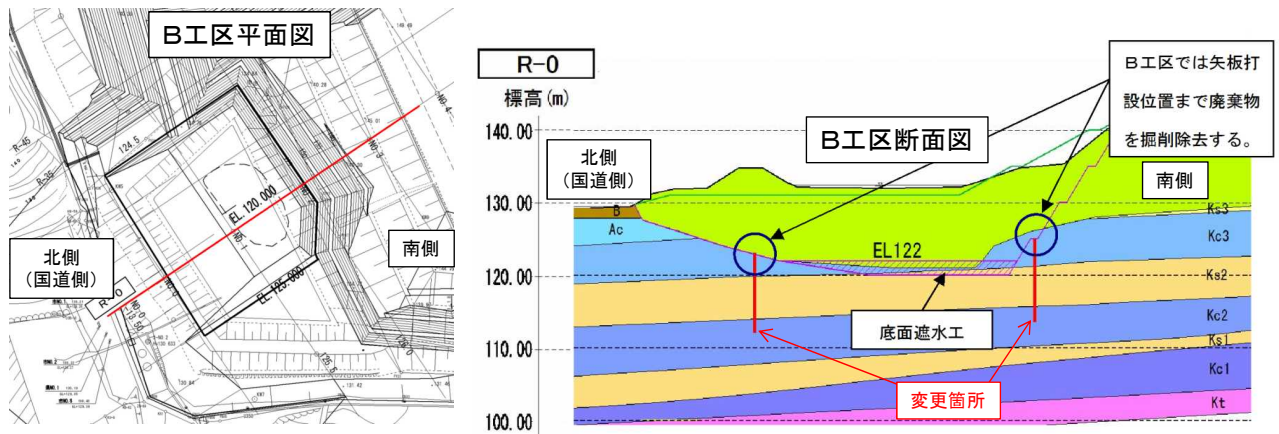
平成28年9月5日

1. 鉛直遮水工 (TRD) 端部の施工位置の変更について



- ・平成26年度に鉛直遮水工 (TRD) 端部の折れ位置で試掘およびボーリング調査を行ったところ、廃棄物層が想定よりも深く存在することが確認され、TRDの施工が困難であったため工事を中断していた。
- ・今回、約10m西側の位置で試掘を行ったところ、廃棄物は確認されなかった。
- ・今後、今回の試掘箇所下部に廃棄物が存在しないことをボーリング調査で確認したうえで、鉛直遮水工 (TRD) の端部を図中の (変更) 位置まで延伸する計画である。

2. B工区止水矢板工の工法変更について



- ・1.で記載した通り、B工区に近接する鉛直遮水工を再開する見込みとなった。
- ・B工区については、掘削時に鋼矢板で止水を行う計画であったが、当工区は矢板打設位置まで廃棄物土を掘削除去する計画であるため、TRD工法での施工が可能である。
- ・そこで鉛直遮水工の施工機械を転用して施工を行うことで工期短縮などが可能となるため、TRD工法に施工方法を変更する。
- ・万一、TRD工法での施工が困難な場合には、当初通り、止水矢板工を行う。